講義概要

平成２９年度入学　６７期生

大阪行岡医療専門学校長柄校

鍼灸科

内　容

学科目と単位（時間数）の基準 1
学年別配当科目 2
心理学Ⅰ 3
心理学Ⅱ 4
社会学Ⅰ 5
社会学Ⅱ 6
生化学 7
保健体育 8
外国語Ⅰ 9
外国語Ⅱ 10
解剖学Ⅰ 11
解剖学Ⅱ 12
解剖学Ⅲ 13
解剖学Ⅳ 14
解剖学Ⅴ 15
解剖学Ⅵ 16
解剖学Ⅶ 17
生理学Ⅰ 18
生理学Ⅱ 19
生理学Ⅲ 20
生理学Ⅳ 21
生理学Ⅴ 22
運動学 23
病理学概論Ⅰ 24
病理学概論Ⅱ 25
臨床医学各論Ⅰ 26
臨床医学各論Ⅱ 27
臨床医学各論Ⅲ 28
臨床医学各論Ⅳ 29
衛生学・公衆衛生学Ⅰ 30
衛生学・公衆衛生学Ⅱ 31
臨床医学総論Ⅰ 32
臨床医学総論Ⅱ 33
基礎臨床論 34
リハビリテーション医学Ⅰ 35
リハビリテーション医学Ⅱ 36
医療概論 37
関係法規 38
あん摩マッサージ指圧理論Ⅰ 39
はりきゅう理論Ⅰ 40

東洋医学概論Ⅰ 41
経絡経穴概論 42
あん摩マッサージ指圧理論Ⅱ 43
はりきゅう理論Ⅱ 44
東洋医学概論Ⅱ 45
東洋医学臨床論Ⅰ 46
東洋医学臨床論Ⅱ 47
あはき社会学 48
あん摩マッサージ指圧実技Ⅰ 49
あん摩マッサージ指圧実技Ⅱ 50
あん摩マッサージ指圧実技Ⅲ 51
はりきゅう実技Ⅰ 53
はりきゅう実技Ⅱ 55
はりきゅう実技Ⅲ 56
臨床実習 57
経絡治療学Ⅰ 58
経絡治療学Ⅱ 59
実践臨床論 60
総合演習 A 61
総合演習 B 62
総合演習 C 63

学科目と単位（時間数）の基準

鍼　　灸　　科

	教育内容	授業科目	指定規則単位数	1学年		2学年		3学年		計	
				単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	心理学Ⅰ	14	2	30					2	30
		心理学Ⅱ		2	30					2	30
		社会学Ⅰ		2	30					2	30
		社会学Ⅱ		2	30					2	30
		生化学				2	30			2	30
		保健体育		2	30					2	30
		外国語Ⅰ		1	30					1	30
		外国語Ⅱ		1	30					1	30
	小	計	14	12	210	2	30	0	0	14	240
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	13	1	30					1	30
		解剖学Ⅱ		1	30					1	30
		解剖学Ⅲ		1	30					1	30
		解剖学Ⅳ		1	30					1	30
		解剖学Ⅴ		1	30					1	30
		解剖学Ⅵ		1	30					1	30
		解剖学Ⅶ						1	30	1	30
		生理学Ⅰ		1	30					1	30
		生理学Ⅱ		1	30					1	30
		生理学Ⅲ				1	30			1	30
		生理学Ⅳ				1	30			1	30
		生理学Ⅴ						1	30	1	30
		運動学				1	30			1	30
	疾病の成り立ちと その予防及び 回復の促進	病理学概論Ⅰ	12			1	30			1	30
		病理学概論Ⅱ				1	30			1	30
		臨床医学各論Ⅰ				1	30			1	30
		臨床医学各論Ⅱ				1	30			1	30
		臨床医学各論Ⅲ						1	30	1	30
		臨床医学各論Ⅳ						1	30	1	30
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ						1	30	1	30
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ						1	30	1	30
		臨床医学総論Ⅰ				1	30			1	30
		臨床医学総論Ⅱ				1	30			1	30
		基礎臨床論				1	30			1	30
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学Ⅰ				1	30			1	30
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学Ⅱ				1	30			1	30
	保健医療福祉と はり、きゅうの概念	医療概論	2	1	30					1	30
		関係法規						1	30	1	30
	小	計	27	9	270	12	360	7	210	28	840
専門分野	基礎あん摩マッサー ジ指圧学 基礎はり学 基礎きゅう学	あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧理論Ⅰ	8	2	30					2	30
		はりきゅう理論Ⅰ		2	30					2	30
		東洋医学概論Ⅰ		2	30					2	30
		経絡経穴概論		4	60					4	60
	臨床あん摩マッサー ジ指圧学 臨床はり学 臨床きゅう学	あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧理論Ⅱ	12					2	30	2	30
		はりきゅう理論Ⅱ						2	30	2	30
		東洋医学概論Ⅱ				4	60			4	60
		東洋医学臨床論Ⅰ				4	60			4	60
		東洋医学臨床論Ⅱ						4	60	4	60
	あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧 社会学 はり社会学 きゅう社会学	あはき社会学	2					2	30	2	30
	実習（臨床実習及び 臨地実習を含む）	あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧実技Ⅰ	20	3	90					3	90
		あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧実技Ⅱ				4	120			4	120
		あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧実技Ⅲ						4	120	4	120
		はりきゅう実技Ⅰ		4	120					4	120
		はりきゅう実技Ⅱ				4	120			4	120
		はりきゅう実技Ⅲ						4	120	4	120
		臨床実習						2	90	2	90
	総合領域	経絡治療学Ⅰ	10			2	30			2	30
		経絡治療学Ⅱ						4	60	4	60
		実践臨床論				4	60			4	60
	総合演習	総合演習Ａ	－	1	30					1	30
		総合演習Ｂ				1	30			1	30
		総合演習Ｃ						4	120	4	120
	小	計	52	18	390	23	480	28	660	69	1530
合		計	93	39	870	37	870	35	870	111	2610

学年別配当科目

《１学年》	《２学年》	《３学年》
【基礎科目】		
心理学Ⅰ	生化学	
心理学Ⅱ		
社会学Ⅰ		
社会学Ⅱ		
保健体育		
外国語Ⅰ		
外国語Ⅱ		
【専門基礎科目】		
解剖学Ⅰ	生理学Ⅲ	解剖学Ⅶ
解剖学Ⅱ	生理学Ⅳ	生理学Ⅴ
解剖学Ⅲ	運動学	臨床医学各論Ⅲ
解剖学Ⅳ	病理学概論Ⅰ	臨床医学各論Ⅳ
解剖学Ⅴ	病理学概論Ⅱ	衛生学・公衆衛生学Ⅰ
解剖学Ⅵ	臨床医学各論Ⅰ	衛生学・公衆衛生学Ⅱ
生理学Ⅰ	臨床医学各論Ⅱ	関係法規
生理学Ⅱ	臨床医学総論Ⅰ	
医療概論	臨床医学総論Ⅱ	
	基礎臨床論	
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学Ⅰ	
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学Ⅱ	
【専門科目】		
あん摩マッサージ指圧理論Ⅰ	東洋医学概論Ⅱ	あん摩マッサージ指圧理論Ⅱ
はりきゅう理論Ⅰ	東洋医学臨床論Ⅰ	はりきゅう理論Ⅱ
東洋医学概論Ⅰ	あん摩マッサージ指圧実技Ⅱ	東洋医学臨床論Ⅱ
経絡経穴概論	はりきゅう実技Ⅱ	あはき社会学
あん摩マッサージ指圧実技Ⅰ	経絡治療学Ⅰ	あん摩マッサージ指圧実技Ⅲ
はりきゅう実技Ⅰ	実践臨床論	はりきゅう実技Ⅲ
総合演習Ａ	総合演習Ｂ	臨床実習
		経絡治療学Ⅱ
		総合演習Ｃ

心理学Ⅰ

科目名　　心理学Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１．心理学とは　近代心理学の特徴（行動主義、精神分析学、ゲシュタルト心理学）
　　コミュニケーション（援助と指導）

２．コミュニケーション　プロセス　記号化と解読、対人認知、社会的スキル

３．コミュニケーション　社会的スキル　一般成人に必要なスキル
　　聴くスキル　聴くことの機能

４．聴くための具体的スキル　受容的な構えになる質問技法、反射

５．聴くための具体的スキル　非言語的チャネルの効果的な使用

６．聴くための具体的スキル　質問、非言語的チャネルの解読
　　メッセージの送り手として注意するポイント

７．メッセージを送る際の重要なポイント（言語、行動メッセージ）
　　心と脳（脳の機能区分、失語・失認・失行）

８．心と脳（後連合野と前頭前野の機能、大脳半球機能差）

９．心と脳（大脳半球機能差、脳と記憶）　知覚（知覚とは、図と地の分化）

１０．知覚（図と地の分化、群化、恒常性、錯視）

１１．知覚（奥行き知覚、運動知覚、知覚成立における内的条件）

１２．記憶（記憶に関する古典的研究、記憶の課程、再生と再認、二重貯蔵モデル）

１３．記憶（長期記憶、記憶を保持するためのポイント、忘却の理論）

１４．記憶（検索環境をうまく設計するには）　メタ認知とスキーマ、メタ認知的知識と活動

１５．試験

教科書・参考書

心理学Ⅱ

科目名　　心理学Ⅱ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１．オリエンテーション
　　カウンセリングの基本
２．動機付け・欲求不満・コンフリクト
　　キャリア形成　社会人基礎力
３．パーソナリティⅠ（特性論　類型論）
　　性格検査（TEG による自己理解Ⅰ）
４．パーソナリティⅡ
　　性格検査（YG による自己理解Ⅱ）
５．知能と創造性
　　EQ（情動の知性）
６．ストレスと健康
　　パーソナリティと健康
７．医療現場においてよりよい人間関係を構築するための自己理解
　　ワーク：対話的関係の自己点検
８．親密な人間関係（対人魅力）
　　－人間関係に負の影響を及ぼす対人認知要因も含めて－
９．人間関係の悩みとその克服
　　医療現場における対人苦手意識の克服に向けて
１０．医療現場に活かす説得的コミュニケーション
１１．健康増進ゲーム
　　（説得を用いたヘルスコミュニケーションのためのゲーム）
１２．医療面接１：医療面接とは
　　医療面接２：医療面接の実際
１３．医療面接（DVD 視聴）
　　医療面接ロールプレイング
１４．認知行動療法、論理療法
　　まとめ
１５．試験

教科書・参考書

社会学Ⅰ

科目名　　社会学Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

Ⅰ　社会の現状

１授業計画の説明

２子どもの健康と体力

子どもの体力低下の現状を知る「自分の体力をチェックしてみよう」（実習）

３遊びからみる社会構造の変容

世代毎に子ども時代の遊びを調査

４少子高齢化社会

人口動態から分析する

５少子高齢化社会

少子化と高齢化の問題点を考える

６現代のライフスタイル

心安らぐモノ・ヒトについて話し合う（GW）

７家族の機能と領域

ジェンダーの視点から考える

Ⅱ　社会環境の問題点

８社会的相互作用と役割

社会的役割を考える

９アイデンティティと社会化

ディズニーやセサミストリートのキャラクター分析（事前学習）

１０多様性プログラム

違い探しゲーム（他者と共生するとは）（GW）

１１消費文化を考える

社会を映すラベリング

１２グローバリズムと世界

我が家の made in ～　（事前学習）

１３テクノロジーと身体・健康観

「人体改造時代」を視聴（VD）

１４生命倫理を考える

１５試験

教科書・参考書

社会学Ⅱ

科目名　　社会学Ⅱ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１オリエンテーション

２「カトストロフとその後」を読む
（未来社会と環境問題）
３社会福祉の歴史：ヨーロッパ編

４社会福祉の歴史：日本編

５生存権について考える。（憲法２５条）

６社会保障の柱：税と保険

７社会保険

８国家予算と借金

９子供の貧困問題

１０社会資源について考える。

１１「２０年目の再開」の視聴（VD）
少年犯罪と貧困問題

１２ネーミングとキャッチコピー

１３「違和感」を持つ人に気付いて
人生設計について（まとめにかえて）
１４テーマを設定し調査研究を行い、レポートを作成する
１５レポート発表会

教科書・参考書

生化学

科目名　　生化学	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１　原子の構造について

２　水分子の構造と水の性質

３　肝臓の働き　DNA から蛋白質合成

４　体液の恒常性とpH

５　アミノ酸の構造と性質

６　蛋白質の構造

７　蛋白質の機能

８　酵素と酵素反応

９　酵素阻害　糖の構造

１０　糖の種類　消化・吸収

１１　脂質の種類　中性脂質　その消化吸収

１２　脂質　リン脂質、コレステロール、リポ蛋白質

１３　ビタミンと補酵素

１４　代謝の全体構造

１５　試験

教科書・参考書

保健体育

科目名　　保健体育	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容(※数回は実技に変更の場合有)

１　講義：解剖学の基本（解剖学的肢位、運動の面、運動の軸）
　　演習：脛骨・腓骨のマッピング
２　講義：解剖学の基本（解剖学的方向、運動用語）
　　演習：前脛骨筋腱、長趾伸筋腱マッピング
３　講義：解剖学の基本
　　演習：　前脛骨筋、長趾伸筋、長短腓骨筋
４　講義：解剖学の基本（形状による分類と用語）
　　演習：長短腓骨筋腱、腸骨稜などの骨指標
５　講義：解剖学の基本（関節について）
　　演習：肩甲骨について
６　講義：関節の種類について
　　演習：脊柱の棘突起について
７　講義：筋系（分類・生理・靭帯・腱などについて）
　　演習：甲状軟骨、輪状軟骨、胸鎖乳突筋など
８　講義：筋の作用、骨格筋の構造について
　　演習：橈側手根屈筋、長掌筋、尺側手根屈筋について
９　講義：筋原線維について
　　演習：腕橈骨筋、円回内筋について
１０　講義：運動神経と感覚神経について
　　演習：長短橈側手根伸筋、長母指外転筋、短母指伸筋
１１　講義：健康・体力について
　　演習：肥満症について①
１２　講義：肥満症について
　　演習：胃経・脾経の流注
１３　講義：運動処方について
　　演習：肺経・大腸経について
１４　講義：骨粗鬆症と運動について
　　演習：試験対策
１５　試験

教科書・参考書

外国語Ⅰ

科目名　　外国語Ⅰ（英語）	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．その場での重要表現、病院用語、body 名Ⅰ

２．その場での重要表現、病院用語、body 名２

３．その場での重要表現Ⅰ

４．その場での重要表現Ⅱ

５．接頭語、語幹、接尾語、（症状に関する病名）

６．ぎっくり腰の会話　接頭語、語幹、接尾語、（診断に関する病名）

７．むちうち症の会話　接頭語、語幹、接尾語、（手術に関する病名）

８．関節炎の会話　接頭語、語幹、接尾語、（筋・骨格筋に関する病名）

９．捻挫の会話　接頭語、語幹、接尾語、（神経・感覚器系に関する病名）

１０．脱臼の会話　接頭語、語幹、接尾語、（呼吸器・循環器系に関する病名）

１１．かぜの会話　接頭語、語幹、接尾語、（消化器系に関する病名）

１２．現病歴に関する会話　接頭語、語幹、接尾語、（尿・生殖系に関する病名）

１３．健康歴に関する会話　接頭語、語幹、接尾語、（その他）

１４．薬に関する会話、一般教養

１５．試験

教科書・参考書

やさしい医学英語
編　者：青野　淳子
著　者：青野　淳子/Danel P Considine
出版社：医学書院

外国語Ⅱ

科目名　　外国語Ⅱ（英語）	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．痛みの表現、医療に関する英語表現

２．神経系とその疾患

３．循環器系とその疾患

４．血液と疾患

５．ビデオ（筋肉）

６．呼吸器系とその疾患

７．消化器系とその疾患

８．泌尿器系とその疾患

９．筋骨格系とその疾患

１０．皮膚および感覚器系およびその疾患

１１．下肢筋肉名と部位

１２．上肢筋肉名と部位

１３．ビデオ（脳と心）

１４．クイズ・クロスワードパズル（病名に関する）

１５．試験

教科書・参考書

やさしい医学英語
編　者：青野　淳子
著　者：青野　淳子/Danel P Considine
出版社：医学書院

解剖学Ⅰ

科目名　　解剖学Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．解剖学総論

２．人体の構成総論

３．人体の区分と方向

４．細胞総論

５．細胞の構造

６．細胞分裂と遺伝子

７．組織総論

８．上皮組織

９．結合組織

１０．神経組織

１１．体表構造（皮膚総論）

１２．皮膚の構造

１３．皮膚の神経・血管

１４．毛・爪・皮膚腺（汗腺・脂腺・乳腺）

１５．試験

教科書・参考資料

解剖学

編　者：（公社）東洋療法学校協会

著　者：河野　邦雄、伊藤　隆造、坂本　裕和、前島　徹、樋口　桂

発行所：医歯薬出版株式会社

解剖学Ⅱ

科目名　　解剖学Ⅱ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．骨格系総論

２．脊柱の構成（椎骨・椎間円板・椎間関節・脊柱管・椎間孔）

３．頸椎・胸椎・腰椎・仙骨・尾骨・脊柱の彎曲

４．胸郭の構成（胸骨・肋骨・胸郭の運動）

５．上肢の構成・上肢帯（鎖骨・肩甲骨）

６．自由上肢骨（上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨）

７．上肢の関節（胸鎖関節・肩鎖関節・肩関節・肘関節・手根間関節・中手指節関節・指節間関節 ）

８．下肢の構成・下肢帯：寛骨（腸骨・坐骨・恥骨）・骨盤（仙腸関節）

９．自由下肢骨（大腿骨・膝蓋骨・脛骨・腓骨・距骨・踵骨・中足骨・指骨）

１０．下肢の関節（股関節・膝関節・脛腓関節・距腿関節・足根間関節）

１１．下肢の関節（足根中足関節・中足指節関節・指節間関節）・足弓

１２．頭蓋骨の構成（脳頭蓋）

１３．頭蓋骨の構成（顔面頭蓋）

１４．頭蓋骨の構成（上顎骨・下顎骨・舌骨）

１５．試験

教科書・参考資料

解剖学

編　者：（公社）東洋療法学校協会

著　者：河野　邦雄、伊藤　隆造、坂本　裕和、前島　徹、樋口　桂

発行所：医歯薬出版株式会社

解剖学Ⅲ

科目名　　解剖学Ⅲ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．筋肉系総論（筋の付着・筋の形・筋の作用運動・筋の補助装置）

２．体幹の筋Ⅰ（胸筋・腹筋）

３．体幹の筋Ⅱ（背筋・会陰筋）

４．体幹の運動（前屈・後屈・側屈・呼吸運動）

５．体幹の局所解剖

６．上肢の筋（上肢帯の筋・上腕の筋・前腕の筋・手の筋）

７．上肢の運動（肩関節・肘関節）

８．上肢の局所解剖（肋鎖間隙・腋窩・肘窩・屈筋支帯と手根管・伸筋支帯）

９．下肢の筋（下肢帯の筋・大腿の筋・下腿の筋・足の筋）

１０．下肢の運動（股関節・膝関節・足関節・足指の筋）

１１．下肢の局所解剖（筋裂孔・血管裂孔・大腿三角・内転筋管）

１２．頭頸部の筋（頭部の筋・頸部の筋）

１３．頭頸部の体表・局所解剖（前頸三角・後頸三角・胸鎖乳突筋部）

１４．まとめ

１５．試験

教科書・参考資料

解剖学

編　者：（公社）東洋療法学校協会

著　者：河野　邦雄、伊藤　隆造、坂本　裕和、前島　徹、樋口　桂

発行所：医歯薬出版株式会社

解剖学Ⅳ

科目名　　解剖学Ⅳ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

第３章　呼吸器系

１．呼吸器系総論

２．鼻腔・副鼻腔・喉頭・咽頭

３．気管・気管支・肺

第４章　消化器系

４．消化器系総論

５．口腔・咽頭・食道

６．胃・小腸・大腸

７．肝臓・胆嚢・膵臓・腹膜

第５章　泌尿器系

８．泌尿器系総論

９．腎臓

１０．尿路

第６章　生殖器系

１１．男性生殖器（精巣・精路・外生殖器）

１２．女性生殖器（卵巣・卵管・子宮・膣・外生殖器）

１３．受精と発生

１４．内臓まとめ

１５．試験

教科書・参考資料

解剖学

編　者：（公社）東洋療法学校協会

著　者：河野　邦雄、伊藤　隆造、坂本　裕和、前島　徹、樋口　桂

発行所：医歯薬出版株式会社

解剖学Ⅴ

科目名　　解剖学Ⅴ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

第２章　循環器系

１．血管系総論

２．心臓

３．動脈系　大動脈　頭頸部の動脈

４．動脈系　頭頸部の動脈

５．動脈系　胸部・腹部の動脈

６．動脈系　上肢・下肢の動脈

７．静脈系１
８．静脈系２

９．胎児循環・リンパ系

１０．リンパ系

１１．内分泌系総論

１２．下垂体・松果体

１３．甲状腺・上皮小体・副腎

１４．膵臓・性腺

１５．試験

教科書・参考資料

解剖学
編　者：(公社) 東洋療法学校協会
著　者：河野　邦雄、伊藤　隆造、坂本　裕和、前島　徹、樋口　桂
発行所：医歯薬出版株式会社

解剖学Ⅵ

科目名　　解剖学Ⅵ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

第８章　神経系

１．総論

２．中枢神経　延髄・橋

３．中枢神経　中脳・小脳・間脳

４．中枢神経　大脳

５．末梢神経　脳神経Ⅰ～Ⅵ

６．末梢神経　脳神経Ⅵ～Ⅻ

７．脳室系・髄膜・脳脊髄液・脳の血管

８．脊髄

９．脊髄神経１

１０．脊髄神経２

１１．伝導路

１２．第９章　感覚器　平衡覚器・味覚器・嗅覚器

１３．視覚器

１４．神経系　総復習

１５．試験

教科書・参考資料

解剖学
編　者：（公社）東洋療法学校協会
著　者：河野　邦雄、伊藤　隆造、坂本　裕和、前島　徹、樋口　桂
発行所：医歯薬出版株式会社

解剖学Ⅶ

科目名　　解剖学Ⅶ	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１　頭部軟部組織、頭蓋骨、髄膜、中枢神経系の特殊性　灰白質・白質

２　神経解剖　大脳皮質　前頭葉、側頭葉、頭頂葉

３　神経解剖　大脳皮質　後頭葉
　　辺縁系　基底核・錐体外路系、パーキンソン病、脳梁

４　神経解剖　間脳　視床・視床下部

５　神経解剖　小脳、脳幹

６　神経解剖　脳神経、顔面神経麻痺のリハビリ、脳室

７　脈管系　　脳動脈・静脈洞
　　神経解剖　脊髄

８　頭蓋内圧亢進症状、髄膜刺激症状、脳ヘルニア、脳血管障害（虚血性）

９　虚血性脳血管障害　スライド、MRI と CT の違い

１０　出血性脳血管障害　スライド、感染性疾患、脳腫瘍（グリオーマ）

１１　脳腫瘍（髄膜腫・神経鞘腫・下垂体腺腫、転移性）脊髄腫瘍
　　ハンチントン舞踏病、脳性小児麻痺、ウィルソン病、脊髄小脳変性症

１２　脊髄空洞症、進行性核上麻痺、認知症、重症筋無力症、
　　筋ジストロフィ、ALS、ギランバレー症候群

１３　国家試験既出問題演習（臨床偏）

１４　国家試験既出問題演習（基礎編）

１５　試験

教科書・参考資料

解剖学

編　者：（公社）東洋療法学校協会

著　者：河野　邦雄、伊藤　隆造、坂本　裕和、前島　徹、樋口　桂

発行所：医歯薬出版株式会社

生理学Ⅰ

科目名　　生理学Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．生理学の基礎①　細胞内小器官

２．生理学の基礎②　物質移動

３．循環①　血液総論、浸透圧

４．循環②　赤血球（ヘモグロビン、血液検査）

５．循環③　白血球、血小板、血漿

６．循環④　血液凝固因子、血液型

７．循環⑤　心臓の構造

８．循環⑥　刺激伝導系、心周期

９．循環⑦　心電図

１０．循環⑧　血管、血圧

１１．循環⑨　圧受容器反射、局所循環

１２．呼吸①　肺気量、死腔

１３．呼吸②　ガス分圧、O_2・CO_2の運搬、胸腹式呼吸

１４．呼吸③　呼吸反射、異常呼吸

１５．試験

教科書・参考書

生理学
編　者：（公社）東洋療法学校協会
著　者：佐藤　優子、佐藤　昭夫
発行所：医歯薬出版株式会社

生理学Ⅱ

科目名　　生理学Ⅱ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．消化と吸収①　総論、機械的消化

２．消化と吸収②　消化管の運動、唾液の性状

３．消化と吸収③　胃液～腸液

４．消化と吸収④　消化管ホルモン、栄養と吸収

５．代謝①　糖質の代謝、基礎代謝量

６．代謝②　脂質、蛋白質

７．代謝③　ビタミン

８．代謝④　ミネラル、水
　　体温①　体温の変動、産熱
９．体温②　体温調節、発汗

１０．排泄①　腎臓の構造、機能、ネフロン

１１．排泄②　糸球体　ろ過、再吸収

１２．排泄③体液調節、クリアランス

１３．排泄④　尿の性状、排尿反射

１４．復習

１５．試験

教科書・参考書

生理学
編　者：(公社) 東洋療法学校協会
著　者：佐藤　優子、佐藤　昭夫
発行所：医歯薬出版株式会社

生理学Ⅲ

科目名　　生理学Ⅲ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．内分泌系概論

２．ホルモンの作用 調節機構、視床下部

３．各内分泌腺とそのホルモンの特徴 （下垂体・甲状腺）

４．各内分泌腺とそのホルモンの特徴 （副甲状腺・膵臓）

５．副腎 レニン・アンギオテンシン系

６．各内分泌腺とそのホルモンの特徴 （精巣・卵巣・その他のホルモン）

７．生殖 （男性生殖器：精子の形成　　女性生殖器：性周期）

８．神経系とは ニューロンの構造と働き

９．電位 興奮と伝導

１０．興奮の伝達 シナプスの特徴

１１．中枢神経系 （脊髄・脳幹・間脳）

１２．中枢神経系：大脳・小脳
末梢神経系：脳神経・脊髄神経

１３．自律神経系の特徴
自律神経系の神経伝達物質と受容体

１４．自律神経系の中枢
自律神経反射

１５．試験

教科書・参考書

生理学
編　者：（公社）東洋療法学校協会
著　者：佐藤　優子、佐藤　昭夫
発行所：医歯薬出版株式会社

生理学Ⅳ

科目名　　生理学Ⅳ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．自律神経(分類・働き)

２．自律神経(伝達物質・受容体・中枢)

３．筋(構造・分類)

４．筋(興奮収縮連関・エネルギー代謝)

５．運動(神経支配・受容器)

６．運動(運動の調節)

７．運動(反射)

８．感覚(分類・性質・体性感覚)

９．感覚(内臓感覚・痛覚)

１０．感覚(味覚・嗅覚・聴覚)

１１．感覚(平衡感覚)

１２．感覚(視覚)

１３．生体防御(白血球・免疫系など)

１４．まとめ

１５．試験

教科書・参考書

生理学

編　者：(公社) 東洋療法学校協会

著　者：佐藤　優子、佐藤　昭夫

発行所：医歯薬出版株式会社

生理学Ⅴ

科目名　　生理学Ⅴ	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．生理学の基礎

２．血液、第 16 章　生体の防御機構

３．循環

４．呼吸

５．消化と吸収

６．栄養と代謝、第 7 章　体温

７．排泄

８．内分泌

９．生殖・成長と老化

１０．神経その１

１１．神経その２

１２．内臓の自律神経性調節

１３．筋、運動

１４．感覚

１５．ホメオスタシスと生体リズム　　生理学まとめ

教科書・参考書

生理学

編　者：（公社）東洋療法学校協会

著　者：佐藤　優子、佐藤　昭夫

発行所：医歯薬出版株式会社

運動学

科目名　　運動学	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．オリエンテーション　骨の構造と機能

２．関節の構造と機能　筋肉の構造と機能　神経の構造と機能

３．脊柱・体幹の機能

４．肩甲帯・肩の機能

５．肘と前腕の機能

６．手と手指の機能

７．骨盤と股関節の機能

８．膝の機能

９．足の機能

１０．正常歩行と異常歩行

１１．関節と運動の力学

１２．姿勢とその異常

１３．運動路と感覚路

１４．反射と随意運動

１５．試験

教科書・参考書

リハビリテーション医学

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

著　者：土肥　信之

発行所：医歯薬出版株式会社

病理学概論Ⅰ

科目名　　病理学概論Ⅰ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．オリエンテーション　第１章「病理学とはどのような学問か」
第２章「疾病についての基本的考え方」

２．第４章「循環障害」①充血・うっ血

３．第４章「循環障害」②貧血・虚血

４．第４章「循環障害」③出血・血栓

５．第４章「循環障害」④塞栓・梗塞

６．第４章「循環障害」⑤浮腫・ショック

７．第５章「退行性病変」①萎縮・変性（その１）

８．第５章「進行性病変」②変性（その２）・壊死

９．第６章「進行性病変」①肥大・増殖・再生

１０．第６章「進行性病変」②化生・肉芽組織・遺物処理

１１．第７章「炎症」①炎症の概念、炎症の３病変

１２．第７章「炎症」②炎症の分類（その１）

１３．第７章「炎症」③炎症の分類（その２）

１４．第７章「炎症」④炎症の分類（その３）

１５．試験

教科書・参考書

病理学
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：畠山　茂、滝澤　登一郎
発行所：医歯薬出版株式会社

病理学概論Ⅱ

科目名　　病理学概論Ⅱ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．第８章「腫瘍」①腫瘍の概念、良性・悪性腫瘍

２．第８章「腫瘍」②癌の種類、癌転移

３．第８章「腫瘍」③癌の発生原因、腫瘍の分類（その１）

４．第８章「腫瘍」④腫瘍の分類（その２）

５．第９章「免疫・アレルギー」①免疫不全、自己免疫不全

６．第９章「免疫・アレルギー」②アレルギー（その１）

７．第９章「免疫・アレルギー」③アレルギー（その２）

８．第９章「免疫・アレルギー」④移植

９．第 10 章「先天異常」①代謝異常と奇形（その１）

１０．第 10 章「先天異常」②奇形（その２）

１１．第３章「病因」①素因

１２．第３章「病因」②内分泌障害

１３．第３章「病因」③物理的外因

１４．第３章「病因」④化学的外因、生物学的外因

１５．試験

教科書・参考書

病理学

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

著　者：畠山　茂

発行所：医歯薬出版株式会社

臨床医学各論Ⅰ

科目名　　臨床医学各論Ⅰ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

1. 第８章　整形外科疾患（第1回　A.総論、B.関節疾患①基礎知識・総論）

2. 第８章　整形外科疾患（第2回　B.関節疾患②関節炎～五十肩）

3. 第８章　整形外科疾患（第3回　B.関節疾患③変形性関節症）

4. 第８章　整形外科疾患（第4回　C.骨代謝性疾患・骨腫瘍①骨代謝性疾患）

5. 第８章　整形外科疾患（第5回　C.骨代謝性疾患・骨腫瘍②骨腫瘍）

6. 第８章　整形外科疾患（第6回　D.筋・腱疾患①筋肉炎・筋膜炎）

7. 第８章　整形外科疾患（第7回　D.筋・腱疾患②腱鞘炎～重症筋無力症）

8. 第８章　整形外科疾患（第8回　E.形態異常①先天性股関節脱臼～側弯症）

9. 第８章　整形外科疾患（第9回　E.形態異常②外反母趾～内反足　F.脊椎疾患①椎間板ヘルニア）

10. 第８章　整形外科疾患（第 10 回　F.脊椎疾患②後縦靱帯骨化症～腰部変形性脊椎症）

11. 第８章　整形外科疾患（第 11 回　F.脊椎疾患③頸部脊柱管狭窄症～頸部捻挫・むちうち症）

12. 第８章　整形外科疾患（第 12 回　G.脊髄損傷～H.外傷①骨折～捻挫）

13. 第８章　整形外科疾患（第 13 回　H.外傷②スポーツ外傷・障害）

14. 第８章　整形外科疾患（第 14 回　I.その他の整形外科疾患）

15. 試験

教科書・参考書

臨床医学各論

編　者：（公社）　東洋療法学校協会

著　者：奈良　信雄、佐藤　千史、三宅　修二、西元　慶治、山口　武兼、三高　千恵子

発行所：医歯薬出版株式会社

臨床医学各論Ⅱ

科目名　　臨床医学各論Ⅱ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．第３章　肝･胆･膵疾患①

２．第３章　肝･胆･膵疾患②

３．第３章　肝･胆･膵疾患③

４．第４章　呼吸器疾患①

５．第４章　呼吸器疾患②

６．第４章　呼吸器疾患③

７．第９章　循環器疾患①

８．第９章　循環器疾患②

９．第９章　循環器疾患③

１０．第２章　消化管疾患①

１１．第２章　消化管疾患②

１２．第２章　消化管疾患③

１３．第 13 章　その他の領域①

１４．第 13 章　その他の領域②

１５．試験

教科書・参考書

臨床医学各論

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

著　者：奈良　信雄、佐藤　千史、三宅　修二、西元　慶治、山口　武兼、三高　千恵子

発行所：医歯薬出版株式会社

臨床医学各論Ⅲ

科目名　　臨床医学各論Ⅲ	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．第１章 感染症 ： A. 感染症総論、　B. 細菌性感染症

２．第１章 感染症 ： C. ウイルス性感染症

３．第１章 感染症 ： D. 性感染症

４．第５章 腎・尿路疾患 ： 腎・尿路総論、　A. 原発性糸球体腎炎

５．第５章 腎・尿路疾患 ： B. 腎不全、　C. 感染症、　D. 腫瘍性疾患

６．第５章 腎・尿路疾患 ： E. 結石症、　F. 前立腺疾患

７．第６章 内分泌疾患 ： 内分泌総論、　A. 下垂体疾患

８．第６章 内分泌疾患 ： B. 甲状腺疾患

９．第６章 内分泌疾患 ： C. 副腎疾患

１０．第７章 代謝・栄養疾患 ： 代謝・栄養総論、　A. 糖代謝異常、　B. 脂質代謝異常

１１．第７章 代謝・栄養疾患 ： C. 尿酸代謝異常、　D、その他の代謝異常症

１２．第 12 章 リウマチ性疾患・膠原病 ： 膠原病総論、　A. リウマチ性疾患

１３．第 12 章 リウマチ性疾患・膠原病 ： B. 膠原病

１４．　まとめ

１５．試験

教科書・参考書

臨床医学各論

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

著　者：奈良　信雄、佐藤　千史、三宅　修二、西元　慶治、山口　武兼、三高　千恵子

発行所：医歯薬出版株式会社

臨床医学各論Ⅳ

科目名　　臨床医学各論Ⅳ	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．第 10 章 血液・造血器疾患 ： 血液総論、 A. 赤血球疾患

２．第 10 章 血液・造血器疾患 ： B. 白血球疾患、 C. リンパ網内系疾患

３．第 10 章 血液・造血器疾患 ： D. 出血性素因

４．第 11 章 神経疾患 ： A. 脳血管疾患①

５．第 11 章 神経疾患 ： A. 脳血管疾患②

６．第 11 章 神経疾患 ： B. 感染性疾患 、 C. 脳・脊髄腫瘍

７．第 11 章 神経疾患 ： D 基底核変性疾患

８．第 11 章 神経疾患 ： E. その他の変性疾患 、 F. 認知症性疾患

９．第 11 章 神経疾患 ： G. 筋疾患 、 H. 運動ニューロン疾患

１０．第 11 章 神経疾患 ： I. 末梢神経性疾患

１１．第 11 章 神経疾患 ： J. 神経痛 、 K. 機能性疾患

１２．第 13 章 その他の領域 ： B. 一般外科①

１３．第 13 章 その他の領域 ： B. 一般外科②

１４．まとめ

１５．試験

教科書・参考書

臨床医学各論

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

著　者：奈良　信雄、佐藤　千史、三宅　修二、西元　慶治、山口　武兼、三高　千恵子

発行所：医歯薬出版株式会社

衛生学・公衆衛生学Ⅰ

科目名　　衛生学・公衆衛生学Ⅰ	
実施時期　第３学年	講義数　　１５回
単位数　　１単位	時間数　　３０時間

講義内容

第１章　衛生学・公衆衛生学の意義
１．衛生学・公衆衛生学の歴史

第２章　健康
２．健康とは
３．健康管理
４．衛生行政
５．医療制度と医療保障

第３章　ライフスタイルと健康
６．食品と栄養
７．食品と疾病
８．食中毒について
９．運動と健康

第４章　環境と健康
１０．環境とは
１１．日常生活環境
１２．環境問題

第５章　産業保健
１３．労働環境と健康
１４．業務上疾病とその対策
１５．試験

教科書・参考書
衛生学・公衆衛生学
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：鈴木　庄亮、高坂　宏一、出嶋　靖志、笹澤　吉明
発行所：医歯薬出版株式会社

衛生学・公衆衛生学Ⅱ

科目名　　衛生学・公衆衛生学Ⅱ	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

第６章　精神保健
１．精神障害の現状と分類
２．おもな精神科疾患、精神保健福祉法

第７章　母子保健
３．母体・乳幼児の健康
４．少子化問題と子育て支援

第８章　成人・高齢者保健
５．生活習慣病と対策
６．高齢者の保健福祉対策

第９章　感染症とその対策
７．感染症の分類と対策
８．免疫について

第 10 章　消毒法
９．消毒の種類と方法
１０．医療廃棄物の処理

第 11 章　疫学
１１．疫学の特徴と意義
１２．疫学調査研究について

第 12 章　保健統計
１３．おもな保健統計とその意義
１４．主要な保健統計指標

１５．試験

教科書・参考書
衛生学・公衆衛生学
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：鈴木　庄亮
発行所：医歯薬出版株式会社

臨床医学総論Ⅰ

科目名　　臨床医学総論Ⅰ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

第１章診察の概要

１．診察の意義、診察の一般的心得、関連用語の理解、診察法の種類、診察の順序

第２章診察の方法

医療面接

２．視診、触診、打診、聴診

第３章生命徴候の診察

３．体温、脈拍、血圧、呼吸

第４章全身の診察

４．精神状態、言語

５．顔色・顔貌、体型・体格、栄養状態

６．姿勢と体位、歩行

７．皮膚・粘膜・皮下組織、爪の状態、リンパ節

第５章局所の診察

８．頭部、顔面、眼

９．鼻、耳、口腔

１０．頸部、胸部、腹部

１１．四肢

１２．乳房、肺・胸膜、心臓

第６章神経系の診察

１３．脳神経の検査

１４．脳神経系の検査、髄膜刺激症状検査

１５．試験

教科書・参考書

臨床医学総論

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

著　者：奈良　信雄

発行所：医歯薬出版株式会社

臨床医学総論Ⅱ

科目名　　臨床医学総論Ⅱ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

第 7 章運動機能検査
１．運動麻痺、筋肉の異常
２．不随意運動、協調運動
３．起立と歩行

第 9 章臨床検査法
４．一般検査
５．血液生化学検査
６．生理学的検査および画像診断の概要

第 10 章おもな症状の診察法
７．頭痛、顔面痛、歯痛
８．めまい、耳鳴り、難聴
９．鼻閉・鼻汁、咳・痰、息切れ（呼吸困難）
１０．動悸、胸痛
１１．腹痛、便秘、下痢、口渇、
１２．血痰・喀血、悪心・嘔吐、吐血・下血
１３．排尿障害、乏尿・無尿、多尿、
１４．浮腫、ショック
１５．試験

教科書・参考書
臨床医学総論
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：奈良　信雄
発行所：医歯薬出版株式会社

基礎臨床論

科目名　　基礎臨床論	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

【運動機能検査・救急時の診察演習】

１．徒手による整形外科的検査法
　　頸部・胸部の検査、肩関節の検査、
　　腰下肢の検査、股関節の検査、膝関節の検査
２．関節可動域測定演習
３．四肢長・周径の確認
４．徒手筋力検査演習
５．心肺蘇生法
６．まとめ

【臨床医学領域概要】
１．眼科領域の概要解説
２．耳鼻科領域の概要解説
３．皮膚科領域の概要解説
４．婦人科領域の概要解説
５．精神科領域の概要解説
６．麻酔科領域の概要解説
　　各診療科目に関する問題演習と解説

【運動機能検査および救急時の診察演習】と【臨床医学領域概要】で試験

教科書・参考書
　臨床医学総論・臨床医学各論
　編　者：(公社)　東洋療法学校協会
　著　者：奈良　信雄
　発行所：医歯薬出版株式会社

リハビリテーション医学Ⅰ

科目名　　リハビリテーション医学Ⅰ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

Ａ．リハビリテーションと障害
　１．基本理念、障害と生活のとらえ方
　２．障害分類（Ｇ．Ｗ)、リハビリテーションの分野

Ｂ．リハビリテーション医学と医療
　３．リハビリテーション医学の概念
　４．リハビリテーション医学とチームアプローチ
　　リハビリテーションの進め方
　　地域ケアと地域リハビリテーション

Ｃ．障害の評価
　５．心身機能・身体構造の評価（その１)、活動の評価、参加の評価
　６．心身機能・身体構造の評価（その２）
　７．合併症の評価、運動麻痺の評価
　８．運動年齢テスト、失行失認テスト、心的評価、摂食嚥下障害の評価

Ｄ．医学的リハビリテーション
　９．理学療法（その１）
　１０．理学療法（その２）
　１１．作業療法
　１２．言語聴覚療法
　１３．補装具療法
　１４．リハビリテーション看護、ソーシャルワーク、リハビリテーション工学

　１５．試験

教科書・参考書

リハビリテーション医学
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：土肥　信之　他
発行所：医歯薬出版株式会社

リハビリテーション医学Ⅱ

科目名　　リハビリテーション医学Ⅱ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．骨関節疾患のリハビリテーション（１）五十肩・腰痛

２．骨関節疾患のリハビリテーション（２）変形性膝・股関節症

３．骨関節疾患のリハビリテーション（３）大腿骨頸部骨折

４．関節リウマチのリハビリテーション

５．末梢神経障害のリハビリテーション

６．パーキンソン病のリハビリテーション

７．切断のリハビリテーション（１）

８．切断のリハビリテーション（２）

９．脳卒中のリハビリテーション　（１）

１０．脳卒中のリハビリテーション　（２）

１１．脊髄損傷（四肢・対麻痺）のリハビリテーション（１）

１２．脊髄損傷（四肢・対麻痺）のリハビリテーション（２）

１３．脳性（小児）麻痺のリハビリテーション

１４．慢性閉塞性肺疾患のリハビリテーション
　　心疾患のリハビリテーション

１５．試験

教科書・参考書

リハビリテーション医学
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：土肥　信之　他
発行所：医歯薬出版株式会社

医療概論

科目名　　医療概論	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．近代医学の方法論の特徴

２．近代医学の課題

３．医療従事者と医療施設

４．国民医療費と医療保険

５．公的医療負担　介護保険

６．介護保険　鍼灸あマ指の保険

７．古い医療倫理　新しい医療倫理

８．インフォームドコンセント

９．QOL、SOL、バイオエシックス

１０．守秘義務、医療史序説

１１．日本の医療史、医心方

１２．日本の医療史　李朱医学

１３．日本の医療史　古方派

１４．日本の医療史　まとめ

１５．試験

教科書・参考書

医療概論

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

監修者：中川　米造

発行所：医歯薬出版株式会社

関係法規

科目名　　関係法規	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

１．法制度の沿革

２．法の意義・目的

３．免許について（資格要件・施術者の身分の消滅と復活）

４．免許について（免許申請・再交付・書き換え交付）

５．業務について（業務範囲・守秘義務など）

６．業務について（施術所の届出・構造設備・広告など）

７．罰則について

８．医業類似行為について

９．医療法・医師法、その他の医療従事者に関する法律

１０．薬事法規（新しい制度である登録販売士についても補足）

１１．保健衛生法規

１２．社会福祉法規

１３．社会保険法規

１４．介護保険法～今後の鍼灸・マッサージ師に求められるもの

１５．試験

教科書・参考書

関係法規　　その他、「官報」など

編　者：（公社）　東洋療法学校協会

著　者：前田和彦

発行所：医歯薬出版株式会社

あん摩マッサージ指圧理論Ⅰ

科目名　　あん摩マッサージ指圧理論Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１．あん摩マッサージ指圧について

２．あん摩の意義と沿革

３．マッサージの意義と沿革

４．指圧の意義と沿革

５．あん摩・マッサージ・指圧の相違点

６．あん摩の基本手技とその作用

７．マッサージの基本手技とその作用

８．指圧の基本手技とその作用

９．あん摩・マッサージ・指圧実技（基礎編）

１０．適応と禁忌について
　　皮膚・筋肉・関節・消化器・呼吸器・全身におよぼず作用

１１．運応法の一般・他動運動法・自動運動法・抵抗運動法・矯正法の作用

１２．施術に応用できる体操法

１３．あん摩・マッサージ・指圧の治療効果（一部）
　　あん摩・マッサージ・指圧の応用分野（医療マッサージ）

１４．あん摩・マッサージ・指圧の応用分野（結合織マッサージ）

１５．試験

教科書・参考書

あん摩マッサージ指圧理論
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：教科書執筆小委員会
発行所：(株) 医道の日本社

はりきゅう理論Ⅰ

科目名　はりきゅう理論Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１　オリエンテーション　第１章　概論
　　第２章　鍼の基礎知識

２　鍼尖の形状、鍼の材質、古代九鍼

３　第３章　刺鍼の方式と術式Ⅰ　刺鍼の方式　刺鍼の術式

４　第３章　刺鍼の方式と術式Ⅱ　刺鍼中の手技

５　第４章　特殊鍼法

６　第５章　灸の基礎知識

７　第６章　灸術の種類

８　第７章　鍼灸の臨床応用

９　第８章　リスク管理Ⅰ　鍼灸の過誤と副作用

１０　第８章　リスク管理Ⅱ　鍼灸の過誤と副作用　気胸、折鍼

１１　第８章　リスク管理Ⅲ　感染症対策　副反応、内出血、皮膚反応、抜鍼困難など

１２　灸の過誤

１３　過誤、副反応の復習

１４　手の洗浄、消毒、器具の滅菌

１５　試験

教科書・参考書

はりきゅう理論
編　者：（公社）　東洋療法学校協会
著　者：教科書執筆小委員会
発行所：（株）医道の日本社

東洋医学概論Ⅰ

科目名　　東洋医学概論Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１　陰陽学説

２　五行学説

３　五行色体表

４　精の生理作用と病態

５　気の生理作用

６　血・津液の生理作用

７　気血津液の不足の病態

８　気血津液の滞りの病態

９　五臓　肝の臓象

１０　肝の病証

１１　胆の臓象、病証

１２　心の臓象、病証

１３　小腸の臓象、病証

１４　東洋医学の特徴、九鍼

１５　　試験

教科書・参考書

東洋医学概論

編　者：(公社)　東洋療法学校協会

著　者：教科書検討小委員会

発行所：(株) 医道の日本社

経絡経穴概論

科目名　　経絡経穴概論	
実施時期　第１学年	講義数　３０回
単位数　　４単位	時間数　６０時間

講義内容

１．教科概略説明　　臓腑経絡論　経絡１）意義と流注　２）正経十二経脈
２．経絡３）奇経八脈の流注の概要"
３．経穴　総論　１）経穴の意義と種類　２）定位（骨度、同身寸）骨度法
４．要穴について３）作用　４）特定穴
３．手の太陰肺経　経絡の流注　手の太陰肺経（１１穴）
４．手の陽明大腸経　経絡の流注　手の陽明大腸経（２０穴）
５．足の陽明胃経　経絡の流注　足の陽明胃経（２０／４５穴）
６．足の陽明胃経（２５／４５穴）　小テスト
７．足の太陰脾経　経絡の流注　足の太陰脾経（２１／２１穴）
８．手の少陰心経　経絡の流注　手の少陰心経（９穴）
９．手の太陽小腸経　経絡の流注　手の太陽小腸経（１９穴）
１０．足の太陽膀胱経　経絡の流注　足の太陽膀胱経（２０／６７穴）
１１．足の太陽膀胱経（４７／６７穴）
１２．足の少陰腎経　経絡の流注　足の少陰腎経（２７穴）
１３．手の厥陰心包経　経絡の流注　手の厥陰心包経（９穴）
１４．手の少陽三焦経　経絡の流注　手の少陽三焦経（２３穴）
１５．足の少陽胆経　経絡の流注　足の少陽胆経（２０／４４穴）
１６．中間試験
１７．足の少陽胆経（２４／４４穴）
１８．足の厥陰肝経　経絡の流注　足の厥陰肝経（１４穴）
１９．奇穴　奇穴の意義　奇穴（３６穴）
２０．その他の奇穴　小テスト
２１．正穴１．督脈経　経絡の流注　督脈経（２８穴）
２２．２．任脈経　経絡の流注　任脈経（２４穴）
２３．経絡現象
２４．デルマトームと経穴
２５．平田十二反応帯、
２６．良導点・良導絡
２７．トリガーポイント
２８．解剖学と経穴部位について
２９．復習
３０．試験

教科書・参考書　　経絡経穴概論
　編　者：(公社)　東洋療法学校協会　日本理療科教員連盟
　著　者：教科書執筆小委員会
　発行所：(株) 医道の日本社

あん摩マッサージ指圧理論Ⅱ

科目名	あん摩マッサージ指圧理論Ⅱ	
実施時期	第３学年	講義数　１５回
単位数	２単位	時間数　３０時間

講義内容

１　あん摩マッサージ指圧理論教科書　第１章あん摩マッサージ指圧の意義まとめ

２　あん摩マッサージ指圧理論教科書　第２章生体におよぼす作用まとめ

３　あん摩マッサージ指圧理論教科書　第３章あん摩マッサージ指圧と東洋医学まとめ

４　あん摩マッサージ指圧理論教科書　第４章あマ指の応用まとめ

５　あん摩マッサージ指圧理論教科書　第５章　実技応用　禁忌症まとめ

６　第１回～第３回　国家試験過去問題演習

７　第４回～第６回　国家試験過去問題演習

８　第７回～第９回　国家試験過去問題演習

９　第１０回～第１２回　国家試験過去問題演習

１０　第１３回～第１５回　国家試験過去問題演習

１１　第１６回～第１８回　国家試験過去問題演習

１２　第１９回～第２１回　国家試験過去問題演習

１３　第２２回～第２４回　国家試験過去問題演習

１４　国家試験要点まとめ

１５　試験

教科書・参考書

あん摩マッサージ指圧理論
編　者：（公社）　東洋療法学校協会
著　者：教科書執筆小委員会
発行所：（株）医道の日本社

はりきゅう理論Ⅱ

科目名　　はりきゅう理論Ⅱ	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

第９章　鍼灸治効の基礎

１．痛みについて　　ポリモーダル受容器　発痛物質　伝導路
２．温度感覚について　温覚　冷覚
３．触圧覚について　　触圧覚受容器　伝導路
４．深部感覚について　筋紡錘　腱受容器
５．鍼灸刺激と反射　　内臓体性反射　体性自律反射
６．鍼鎮痛Ⅰ　　鍼麻酔　鍼鎮痛
７．鍼鎮痛Ⅱ　　ゲートコントロール説
８．刺激と反応　　鍼灸の治療的作用

第１０章　鍼灸療法の一般治効理論

９．自律神経と鍼灸刺激
１０．生体防御機構と鍼灸刺激
１１．神経系、内分泌系、免疫系の相互作用

第１１章　関連学説

１２．サイバネティックス、ホメオスターシス、汎適応症候群（ストレス学説）
１３．過剰刺激症候群（レイリー現象)、圧発汗反射

１４．関連学説　練習問題

１５．試験

教科書・参考書

はりきゅう理論
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：教科書執筆小委員会
発行所：(株) 医道の日本社

東洋医学概論Ⅱ

科目名　　東洋医学概論Ⅱ	
実施時期　第２学年	講義数　３０回
単位数　　４単位	時間数　６０時間

講義内容

１　オリエンテーション、陰陽論
２　陰陽論、五行論
３　八鋼弁証
４　八鋼弁証、気の病理と病証
５　気の病理と病証、血の病理と病証
６　血の病理と病証、津液の病理と病証
７　五臓の病証（心・肝）
８　五臓の病証（肝・脾）
９　五臓の病証（脾・肺）
１０　六腑の病証
１１　経絡の病証
１２　奇経八脈病証、六経病証
１３　四診法（総論、望診）
１４　四診法（望診）
１５　四診法（聞診）
１６　四診法（聞診、問診）
１７　四診法（問診）
１８　四診法（問診）
１９　四診法（問診）
２０　四診法（問診）
２１　四診法（問診）
２２　四診法（切診）
２３　四診法（切診）
２４　四診法（切診）
２５　四診法（まとめ）
２６　証の立て方
２７　治療論（刺法）
２８　治療論（補瀉法）
２９　まとめ
３０　試験

教科書・参考書

東洋医学概論
編　者：（公社）　東洋療法学校協会
著　者：教科書執筆小委員会
発行所：（株）医道の日本社

東洋医学臨床論Ⅰ

科目名　　東洋医学臨床論Ⅰ	
実施時期　第２学年	講義数　３０回
単位数　　４単位	時間数　６０時間

講義内容

１　治療総論（現代医学的）
２　治療総論（東洋医学的）
３　治療総論（健康医学としての鍼灸療法）
４　頭痛
５　顔面痛、顔面麻痺
６　歯痛、眼精疲労
７　鼻閉、鼻汁
８　脱毛症
９　めまい、耳鳴り、難聴
１０　咳嗽、喘息
１１　胸痛、腹痛
１２　悪心、嘔吐
１３　便秘、下痢
１４　月経異常①
１５　月経異常②
１６　排尿障害、インポテンツ
１７　肩こり
１８　頸肩腕痛
１９　肩関節痛、上肢痛
２０　腰下肢痛、膝痛
２１　運動麻痺
２２　高血圧症
２３　低血圧症
２４　食欲不振、肥満
２５　発熱
２６　のぼせ、冷え
２７　不眠
２８　疲労倦怠
２９　発疹
３０　小児の症状
　　試験

教科書・参考書
東洋医学臨床論
編　者：（公社）　東洋療法学校協会　著　者：教科書執筆小委員会　発行所：医道の日本社

東洋医学臨床論Ⅱ

科目名　　東洋医学臨床論Ⅱ	
実施時期　第３学年	講義数　３０回
単位数　　４単位	時間数　６０時間

講義内容

１　　鍼灸臨床　①治療総論
２　　鍼灸臨床　②頭痛、顔面痛
３　　鍼灸臨床　③顔面神経麻痺、歯痛
４　　鍼灸臨床　④眼精疲労、鼻閉・鼻汁（アレルギー性鼻炎）
５　　鍼灸臨床　⑤脱毛症、めまい、耳鳴り
６　　鍼灸臨床　⑥難聴、咳嗽（風邪症候群、気管支喘息など）
７　　鍼灸臨床　⑦胸痛（特発性肋間神経痛など）
８　　鍼灸臨床　⑧悪心・嘔吐（慢性胃炎など）
９　　鍼灸臨床　⑨便秘と下痢、月経異常
１０　鍼灸臨床　⑩排尿障害、慢性膀胱炎、前立腺炎、
１１　鍼灸臨床　⑪インポテンツ、肩こり、五十肩
１２　鍼灸臨床　⑫頚椎症、胸郭出口症候群
１３　鍼灸臨床　⑬腰痛・腰下肢痛
１４　鍼灸臨床　⑭坐骨神経痛（梨状筋症候群含む）
１５　まとめ・試験
１６　臨床入門　①頚肩腕症候群に対する鍼灸治療　その１　鑑別診断
１７　臨床入門　②頚肩腕症候群に対する鍼灸治療　その２　鍼灸治療についての考え方
１８　臨床入門　③胸郭出口症候群に対する鍼灸治療　その１　鑑別診断
１９　臨床入門　④胸郭出口症候群に対する鍼灸治療　その２　鍼灸治療についての考え方
２０　臨床入門　⑤頚肩腕症候群および胸郭出口症候群に対する鍼灸治療　チェック
２１　臨床入門　⑥腰下肢痛に対する鍼灸治療　その１　鑑別診断
２２　臨床入門　⑦腰下肢痛に対する鍼灸治療　その２　鍼灸治療についての考え方
２３　臨床入門　⑧膝関節障害に対する鍼灸治療　その１　鑑別診断
２４　臨床入門　⑨膝関節障害に対する鍼灸治療　その２　鍼灸治療についての考え方
２５　臨床入門　⑩腰下肢痛および膝関節障害に対する鍼灸治療　チェック
２６　臨床入門　⑪消化器症状に対する鍼灸治療　その１　鑑別診断
２７　臨床入門　⑫消化器症状に対する鍼灸治療　その２　鍼灸治療についての考え方
２８　臨床入門　⑬アレルギー疾患（花粉症など）に対する鍼灸治療　その１　鑑別診断
２９　臨床入門　⑭アレルギー疾患（花粉症など）に対する鍼灸治療　その２　鍼灸治療の考え方
３０　まとめ・試験

教科書・参考書
東洋医学臨床論
編　者：(公社)　東洋療法学校協会　著　者：教科書執筆小委員会　発行所：医道の日本社
はりきゅう検査実技学

あはき社会学

科目名　あはき社会学	
実施時期　第３学年	講義数　１５回
単位数　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１　国家試験概要
２　あはき師を取り巻く環境
　医療保険・介護保険概要、現代社会における医療制度の現状
３　医療機関におけるはり師・きゅう師の役割
　施術所におけるあはき治療（在宅医療）
４　現代社会におけるあはき師の役割
　高齢化社会におけるあはき師の役割
５　アロマテラピーの効用　併用するその他の医療
　介護保険下の業務
６　少子化におけるあはき師の役割
　はやる治療院・はやらない治療院の傾向について
７　国家試験の出題手続きについて
８　女性のライフスタイルにおけるあはき師の役割
９　ダイエットに応用するあはき治療
１０　スポーツ傷害とあはき治療
　施術所の経営展開　開設に必要な法律知識
１１　経営各論　リスク管理
１２　治療室　部屋図面
　治療院に必要な備品器械・消耗品
１３　鍼灸の歴史
１４　理想の治療院を考える
１５　自分の考える（理想の）鍼灸院

教科書・参考書

社会あはき学
編　者：(公社)　東洋療法学校協会
著　者：教科書執筆小委員会
発行所：医道の日本社

あん摩マッサージ指圧実技Ⅰ

科目名　あん摩マッサージ指圧実技Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　４５回
単位数　３単位	時間数　９０時間

講義内容

《あん摩実技》

基礎練習　母指圧迫、母指揉捏、手掌軽擦の説明と練習

座位での肩背部の施術　説明と練習

座位での肩背部の施術　主に軽擦、圧迫、揉捏

座位での肩背部の施術　主に曲手、叩打法

座位での頚部の施術　説明と練習①

座位での頚部の施術　説明と練習②

座位での上肢の施術　説明と練習①

座位での上肢の施術　説明と練習②

座位での上肢の施術　説明と練習③

頭部の施術　説明と練習

肩背部の施術　復習

頚部の施術　復習

上肢の施術　復習①

上肢の施術　復習②

側臥位での肩背部の施術　説明と練習

《指圧実技》

導入、諸注意、授業概要の説明

伏臥位　脊柱検査・掌圧

伏臥位　１側線・２側線

伏臥位　３側線

伏臥位　肩甲骨内側縁・腸骨縁

伏臥位　仙骨挟み込み

伏臥位　下腿操作（１）

伏臥位　下腿操作（２）

伏臥位　掌圧～下腿操作（２）までの復習

伏臥位　肩上部操作

伏臥位　上肢操作

伏臥位　下腿操作（３）

伏臥位　下腿操作（４）

伏臥位　総復習

側臥位　上肢操作（１）

側臥位　上肢操作（２）

側臥位　頚部操作

側臥位　背部運動操作

側臥位　肩部運動操作

側臥位　背部操作

側臥位　臀部・下腿操作

側臥位　総復習

仰臥位　胸腹部操作

仰臥位　下腿操作

仰臥位　運動操作

仰臥位　顔面操作

仰臥位　総復習

坐位　頚部・肩上操作

坐位　運動操作

指圧基本実技総復習

教科書・参考書

プリント配布

あん摩マッサージ指圧実技Ⅱ

科目名　あん摩マッサージ指圧実技Ⅱ	
実施時期　第２学年	講義数　６０回
単位数　４単位	時間数　１２０時間

講義内容

《あん摩実技》

側臥位での肩背部の施術　説明と練習（１）
肩背部（１）（２）
頸部（１）（２）
上肢（１）（２）（３）
腰臀部・下肢（１）（２）（３）
伏臥位での施術（総仕上）　説明と練習
腹部の施術　説明と練習
肩背部・頚部・腰部の施術　復習
上肢の施術　復習
下肢の施術　復習

肩背部・頚部・腰部の施術　復習
上肢の施術　復習
下肢の施術　復習
伏臥位での施術　復習
肩関節周辺の運動法（１）（２）
　パートナーで治療し合いする
肘と手関節の運動法
　パートナーで治療し合いする
股関節・膝関節の運動法
　パートナーで治療し合いする
足関節周辺の運動法
　パートナーで治療し合いする
腰仙部の運動法
　パートナーで治療し合いする
各施術のチェック
パートナーで治療し合いする
頸部・上肢・下肢

《マッサージ実技》

マッサージ実技　概論
Ⅰ．上肢（筋系）のマッサージ
（各部、説明と練習・復習を含む）
　Ａ．指部
　Ｂ．手背部
　Ｃ．手掌部
　Ｄ．手関節部
　Ｅ．前腕部
　Ｆ．肘関節部
　Ｇ．上腕部
　Ｈ．肩関節部
Ⅱ．下肢（筋系）のマッサージ（仰臥位）
　Ａ．足趾部
　Ｂ．足背部
　Ｃ．足関節部
　Ｄ．下腿部
　Ｅ．膝関節部
　Ｆ．大腿部
　Ｇ．股関節部
Ⅲ．下肢（筋系）のマッサージ（腹臥位）
　Ａ．足底部
　Ｂ．アキレス腱および下腿後側部
　Ｃ．膝関節部(膝窩)
　Ｄ．大腿部
　Ｅ．股関節部
　Ｆ．殿部
　Ｇ．背部(脊柱起立筋部)
　　(僧帽筋部上部・中部・下部線維)
　　(広背筋)(棘下筋部)

教科書・参考書
　プリント配布

あん摩マッサージ指圧実技Ⅲ

科目名　　あん摩マッサージ指圧実技Ⅲ	
実施時期　第３学年	講義数　６０回
単位数　　４単位	時間数　１２０時間

講義内容

《あん摩実技》

肩こりの治療
　肩甲骨内縁の揉捏
肩こりの治療
　上肢の経絡刺激と肩周囲の筋緊張

腰痛の治療
　仙腸関節、腰仙関節の動きと筋緊張
　下肢の経絡刺激と腰周囲の筋緊張

膝痛の治療
　膝関節の動き　運動法
　膝周囲の筋緊張と治療

肩関節の運動法
股関節痛(症)の治療

主な症候に対する治療
　歯痛の治療
　耳鳴りの治療
　呼吸器系の治療
　　カゼ・喘息等
　頭痛の治療
　眼精疲労の治療

実技演習
パートナーを患者に見立てての治療のし合い

《マッサージ実技》

(各部、説明と練習・復習を含む)
Ⅳ. 頭部及び体幹のマッサージ
　A. 顔面部
　B. 腹部
　　(胃部、小腸部、大腸部)
　C. 頭部
　D. 頸部
　(胸鎖乳突筋部)
　(側頸部)(後頸部)
　E. 胸部(大胸筋群)
　F. 側胸筋部
　(前鋸筋群)
　(肋間筋群)
　G. スポーツマッサージ
　　オイルマッサージ

実技演習
時間測定による練習
患者モデルに対しての施術の組立と治療
各手技の確認と評価

《指圧実技》

指圧の基本1年の復習
基本操作法 (伏臥位)
掌圧・指圧器背部１側線押圧
掌圧３側線、指圧器２側線内側
腸骨稜～下肢、後面正中～足底
指圧器２側線外側
下肢(後面、内側、外側まで)
指圧器:仙骨、1･2･3 側線と臀部(伏臥位)の押圧について
肩背部、肩上部、上肢の押圧
指圧器:下肢、下腿部押圧
指圧器:肩甲骨の内縁と肩上部の押圧
基本操作法(仰臥位)
胸部～足まで　腰部運動法
顔面の押圧
基本操作(座位)
頸、背部、胸部の運動法、肩上部の押圧
応用操作
手首、足首、ｱｷﾚｽ腱、踵骨施術
頚部の掌圧(側臥位)と応用
大腰筋、側臥位・仰臥位の押圧
ギックリ腰の治療について
頸長筋下部、上部の押圧
上胸椎、下頚椎の矯正法
頭蓋骨の動かし方、
脊柱全般の運動法、矯正法、
肋骨押圧と運動法
股関節の治療法について
膝関節の治療法について
①指圧の基本(実技と説明)
②ｽﾄﾚｯﾁ(実技と説明)
③筋紡錘と指圧(実技と説明)

教科書・参考書
　プリント配布

はりきゅう実技Ⅰ

科目名　　はりきゅう実技Ⅰ	
実施時期　第１学年	講義数　６０回
単位数　　４単位	時間数　１２０時間
講義内容 《はり実技》 オリエンテーション、器具説明 片手挿管、前揉後揉法、押手、弾入、切皮 弾入、切皮、刺入、抜針 シリコンウレタンへの実技 片手挿管、押手、切皮、送り込み 片手挿管、旋撚刺法 切皮時に鍼管を真直ぐ立てる注意 送り込み再考 シリコン３枚 　送り込み、押手なし、旋撚刺法 片手挿管のスピード１分 経穴の触察 シリコン３枚下に穴あき用紙 シリコン３枚下に穴あき用紙　45 度斜刺 横刺　シリコン１枚（７㎜以内） １７手技 　単刺術、雀啄術、間欠術、屋漏術、振せん術、旋撚術、回旋術 　乱鍼術、副刺激術、示指打法、隋鍼術、内調術、細指術、管散術、鍼尖転位法、刺鍼転向法 消毒の流れ 自身の下腿前外側、内側、大腿前面に刺鍼（深度２㎝目標） 自身の下腿前外側、内側、大腿前面に刺鍼（押手から深度確認まで５秒目標）	《きゅう実技》 お灸道具の紹介、お灸の歴史 米粒大 　捻り方の説明、デモ、各自手の動きをチェック 米粒大 　大きさ練習 米粒大 　見極め　クリアした者から板上施灸 米粒大 　板上 米粒大 　板上で6壮／分 米粒大 　板上で8壮／分 米粒大 　紙上　半米粒大の形チェック 米粒大 　紙上 米粒大　3分間　個人測定　1壮＝8秒、1壮＝10秒 米粒大　1壮＝8秒、1壮＝6秒、半米粒大　形確認　1壮＝10秒 　3分間個人練習 米粒大・半米粒大 　1壮＝8秒 　3分間　グループ分け　活動方針の決定 　3分間　グループ練習 　3分間トライアル 　皮膚への施灸、8分デモ 　プレ見極め
教科書・参考書 はりきゅう実技基礎編 　編　者：(公社)　東洋療法学校協会 　著　者：教科書執筆小委員会 　発行所：医道の日本社	

はりきゅう実技Ⅱ

科目名　はりきゅう実技Ⅱ	
実施時期　第２学年	講義数　６０回
単位数　４単位	時間数　１２０時間
講義内容 【安全ガイドライン編】 実験自分の押手の幅を知る 自分刺鍼　直刺で 10 ㎜、20 ㎜(寸 6、寸 3) 相手に刺鍼　大腸兪直刺20㎜まで(寸6、寸3) 相手に刺鍼　手三里斜刺10㎜まで(寸6、寸3) 折鍼、埋没鍼、抜鍼について 相手に刺鍼　条口横刺 触診力を養う　手の陽経の硬結を探す 神経障害　実験　切皮時の刺入痛の有無を体験 鍼感の残存、出血傾向 反応点への刺鍼　足の陽経・陰経 熱傷:灸痕の化膿など　実験灸温度計測定 熱傷:灸痕②神経原性ショックその他 反応点への刺鍼　手の陽経・陰経 手洗い・手指消毒　腹部への刺鍼、中脘・関元 廃棄物の処理　総合演習 鍼灸カルテの意義と管理	【触診】 骨の触診 筋の触診 最長筋、腸肋筋、多裂筋、腰方形筋、大殿筋、中殿筋、梨状筋、大腰筋、大腿筋膜張筋、縫工筋、大腿四頭筋、内転筋群、大腿二頭筋、半腱半膜様筋、前脛骨筋、長趾伸筋、第 3 腓骨筋、長母指伸筋、長短腓骨筋、大腿三頭筋、足底筋、膝窩筋 【特殊鍼法】 刺鍼練習　前脛骨筋・下腿三頭筋 低周波通電法①②　理論・実技 前脛骨筋・下腿三頭筋を中心に 長太鍼練習　3 寸 10 番鍼ステンレス製 大腿前面、後面を中心に刺鍼・通電 捻鍼法　17 手技
【基礎灸実技】 米粒大、半米粒大の灸 【特殊灸法】 隔物灸 【特殊鍼灸法】 灸頭鍼法、一点一穴のお灸、小児鍼 【経絡・経穴に応じた施術】 攢竹、陽白、四白、光明、大腸兪、腎兪、失眠穴、胃の六つ灸、三角形灸、小児斜差の灸 胆経、大腸経 【症候別治療法】 急性胃炎、神経性胃炎、麦粒腫、結膜炎 眼精疲労、めまい、外・中・内耳炎、メニエール病、ギックリ腰、肩こり	【基礎鍼灸実技】 押手の確認、刺鍼、施灸練習 【身体部位ごとの鍼灸手技】 肩背部刺鍼・施灸　つかみ肩井 腰部華佗狭脊穴の刺鍼練習 殿部　腰部８点灸 刺鍼転向法、背部施灸練習 横刺　頸部、背部、胸部、季肋部 【特殊鍼法】 低周波通電法、皮内鍼 【特殊灸法】 隔物灸、棒灸 【鍼灸関連治療法】 吸玉
教科書・参考書 安全ガイドライン、配布プリント	

はりきゅう実技Ⅲ

科目名　　はりきゅう実技Ⅲ	
実施時期　第３学年	講義数　６０回
単位数　　４単位	時間数　１２０時間

講義内容

【鍼灸学基礎編】
四診法概論　三里
望診（望神）　関元
曲池、手三里、伏兎、梁丘、陰陵泉
舌診について
聞診　豊隆、中脘、復溜、経渠
問診　腰痛の問診、腓腹筋の圧痛
　寒熱を問う　三陰三陽病　太陽病
　飲食を問う
　二便を問う
痛みの部位　頭痛、胸痛、腹痛、腰痛、痺証
月経について
不眠・嗜眠について
背候診　心兪、神堂
腹診について
経筋について
脈診　六祖脈、28 脈、兼脈
脈診テスト
症例

【各病症に対する基本鍼法】
和法の刺入法　副交感神経優位の病症の鍼
清熱収斂法　交感神経優位の病症の鍼
下法　胃熱に対しての処理＆大腸兪
潤法　脱水等による処置
　　血圧上昇による調整法
【症候に対する鍼法】
頭痛の治療法＆局所的調整
頸部痛の治療法＆局所的調整
腰部の治療法＆局所的調整
呼吸器疾患の治療法
循環器障害の治療法
腹部疾患（婦人科除く）の治療法
婦人科疾患の治療法
妊娠中の治療法＆産後の治療法
麻痺・パーキンソン病など神経障害の治療法
心身症・不眠など神経症状の治療法
小児鍼＆打鍼術

教科書・参考書
　　東洋医学概論、鍼灸学基礎編

臨床実習

科目名　　臨床実習	
実施時期　第３学年	講義数　実時間
単位数　　２単位	時間数　９０時間

講義内容

概要
付属治療所に来所する患者に対する実習。

内容
臨床実習オリエンテーション
付属治療室ガイダンス
ベッドサイド実習ガイダンス
運動器疾患を中心とした診察方法の練習
運動器疾患を中心とした治療穴の刺鍼練習
医療面接と診察の内容から病態把握・治療方針立て方の練習
周辺機器（遠赤外線治療機・パルス・SSP など）の使用方法のガイダンス
診療録の記載方法のガイダンス
症例報告書の記入方法のガイダンス
ベッドサイド実習　患者に対する医療面接・身体診察・病態把握・治療
症例検討

教科書・参考書
東洋医学臨床論、臨床医学総論、はりきゅう実技（基礎編）、経絡経穴概論
はりきゅう検査治療学、危険経穴解剖アトラス

経絡治療学Ⅰ

科目名　　経絡治療学Ⅰ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　２単位	時間数　３０時間

講義内容

１　　経絡治療とは　その意義

２　　八鋼

３　　八鋼　診察ワーク

４　　気血水の生理学

５　　気血水の病証

６　　気血水の問診

７　　五行色体表　臓象　心

８　　五臓の臓象

９　　五臓の問診

１０　舌診の解説

１１　舌診の実技

１２　腹診の解説

１３　腹診　十六難、墓穴診、実技

１４　漢方の腹診

１５　試験

教科書・参考書

経絡治療学Ⅱ

科目名　　経絡治療学Ⅱ	
実施時期　第３学年	講義数　３０回
単位数　　４単位	時間数　６０時間

講義内容

古典的鍼灸医学。臨床への入門。医古文の臨床応用。古典の研究方法。
医学理論。診断。鍼灸師の為の医学。
経絡治療の限界と問題点。古典主義医学の理論的基盤。
蔵象学説。五蔵の生成蔵象の生成。気血・営衛・津液の生成。
病証学の構造と臨床。病証学の基本概念。
陰陽・虚実・寒熱・表裏・気血・蔵府
五蔵の配当　心の働き、肝の働き
脾(胃)の働き、肺の働き
胆の働き、腎の働き
三焦
病因　(A)外因　①風邪　②寒邪
③暑邪　④湿邪　⑤燥邪　⑥熱邪
六部定位脈診の証と病証における取穴論
五蔵の虚実をみる。証決定の条件。証決定の条件のパターン。

病証に対応する脈状と要穴との関係。
(B)内因　病証学における氣血論について。
内因病証考。「内因傷レ氣・外因傷レ形」
七神と七情。「失レ神者死、得レ神者生」
内神を失することによる病変。七情。内因証の考察。飲食労(養の内傷と外因・内因七情と気血陰陽の関係
病像の展開。病像に対する証の把握。
病因と病証の機序。五蔵の性質によってきまる陰虚。
陽虚について。病像に対する証。病像の展開と素因証。
素因証としてのタイプ。内因陰虚及び形気の度合いによる外因証。
「脈経」に記述される二十四脈中浮沈遅数虚実滑濇の八祖脈について。八祖脈の脈状及び他の十六脈の関係。
病証と脈証について。陰陽虚実概念のパターン及び解説。
陰陽虚実概念によるパターンの病証図。五蔵の気血陰陽配当。脈状診病証。病証と選経・選穴についての病証のイメージ
神瀉考滑濇の脈による予後判断。手足の温度。陰陽虚実と八祖脈による脈状診及び六部定位脈診による証
脈状診及び六部定位脈診法による症例集。

教科書・参考資料

実践臨床論

科目名　　実践臨床論	
実施時期　第２学年	講義数　３０回
単位数　　４単位	時間数　６０時間

講義内容

【学術研究関係】
オリエンテーション　　実験の説明１　妥当性　バイアスなど
実験の説明２　　介入試験、比較対照試験など
生理学実習１　血糖値の比較
生理学実習２　指床間距離の比較
生理学実習３　乳酸値の比較
プロトコール（実験計画書）作成の説明
プロトコール１　「目的」「方法」
プロトコール２　「目的」「方法」「結果予想」
前実験１・２
プロトコールの確認　「目的」「方法」「結果予想」
「被検者リクルート」など

【臨床実習前教育】
臨床実習で必要な鍼灸技術・あん摩マッサージ指圧技術を行えるようにする。
臨床実習で必要な医療面接および身体診察を行えるようにする。
衛生面・安全面に考慮した鍼灸治療を行えるようにする。
概　要
１．診療録（カルテ）の書き方および演習
２．症例報告の書き方および演習
３．身体各部位への刺鍼・施灸
　身体部位：肩・腰・膝・四肢末端（五行穴）への刺鍼・施灸
４．消毒方法の確認　クリーンニードルテクニック
５．刺入深度・方向の確認
６．あん摩・マッサージ・指圧技術の確認
７．医療過誤の状況について
８．臨床実習前試験（バリア試験）

バリア試験の運用について
この試験で基準点を超えた者に臨床実習への参加を認めていく。
基準点に満たなかった者は、補習を行い、基準を満たすまで実習に参加させないものとする。
この試験での評価点数を当該科目の最終評価とする。

教科書・参考書

総合演習Ａ

科目名　　総合演習Ａ	
実施時期　第１学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

【基本実技演習】

１．はり　消毒操作１
２．はり　消毒操作２
３．きゅう　消毒操作３
４．きゅう　消毒操作４
５．はりきゅう　消毒操作５
６．はりきゅう　消毒操作６
７．はり　安全刺鍼
８．きゅう　安全施灸
９．確認試験

【履修科目要点解説・問題演習】

１．解剖学　体表解剖　骨格系１
２．解剖学　体表解剖　骨格系２
３．解剖学　体表解剖　骨格系３

４．生理学　要点解説　循環
５．生理学　要点解説　消化器
６．生理学　問題演習

７．試験

教科書・参考書

総合演習Ｂ

科目名　　総合演習Ｂ	
実施時期　第２学年	講義数　１５回
単位数　　１単位	時間数　３０時間

講義内容

【特殊療法演習】

１．アロマセラピー（芳香療法）とは

２．ベースオイルについて

　ベースオイルの違い、オイル作成

３．精油の化学・使い方・種類

　性格に合った精油の使い方（性格診断テスト）

　柑橘系、フローラル系、ウッディ系、

４．老化について（肌や毛髪）ジェル作り、化粧品と香料について（美容）スプレーを作る

５．免疫について（DVD 鑑賞）、風邪・インフルエンザとアロマセラピー（免疫）

　アロマセラピーの効果判定（POMS テスト）

【身体診察演習】

１．打診・聴診　聴診器の使い方、呼吸音・心音の確認

２．脈拍測定、血圧測定

３．感覚検査　触覚・痛覚検査デルマトームの確認

　　振動覚検査、２点識別覚検査

　　※音叉検査（リンネ検査、ウェーバー検査）

４．反射検査　深部反射

５．まとめ

【経穴取穴演習】

１．体幹部の主要経穴部位　背部・腹部

２．奇穴の確認

３．五行色体表の確認

４．難経６９難取穴

【身体診察演習】と【経穴取穴演習】で試験

教科書・参考書

総合演習Ｃ

科目名　　総合演習Ｃ	
実施時期　第３学年	講義数　６０回
単位数　　４単位	時間数　１２０時間

講義内容

【中国鍼灸実技】
中国鍼灸について（歴史、中西医結合、現状）
中国伝統医学の特徴、伝統手技の紹介
中国鍼灸実技・伝統手技の実技
歯科領域の鍼灸
世界鍼灸学会見聞録紹介
女性と鍼灸　美容鍼灸、婦人科疾患
中国五要穴・十要穴・耳鍼療法、九六補瀉法
青龍擺尾法、龍虎道、小児捏揪法
日本の万能穴・鍼麻酔紹介、頭皮鍼の弁証
足部按摩、薬膳料理、難病治療紹介
よくみかける病証の鍼灸臨床
各種病例鍼灸治療
腰痛、坐骨神経痛、捻挫、うつ病、自律神経失調症
中国伝統的な特効穴
気功

【学術研究・学会発表対策】
基礎実験・アンケート調査
発表原稿・スライド作成
学内発表会
学術大会発表練習

【実技試験対策】
あん摩・マッサージ・指圧実技復習
はりきゅう実技評価対策

【筆記試験対策】
模擬試験（科目別、全科目範囲）

【実技試験　診察法対策】
OSCE の説明
医療面接～治療①
医療面接～治療②
整形外科的検査および神経学的検査
頸部の検査　主要検査
肩部の検査　主要検査
上肢の検査　主要検査
上肢の神経学的検査　主要検査
腰下肢の検査　主要検査
腰下肢の神経学的検査　主要検査
腰の鑑別検査　主要検査
膝の検査①　主要検査
膝の検査②　主要検査

目的と効果
・客観的臨床能力(Objective Structured Clinical Examination：OSCE)を取り入れ、実際に患者様に、問診・検査・施術をするために必要な実技レベルになるように、ロールプレイやお互いに評価をしながら、授業をすすめる。
・衛生概念、リスク管理、患者様への配慮など、臨床に必要な知識の習得

【国家試験対策】
問題演習
専門基礎科目の対策
専門科目の対策

教科書・参考書